

鵜沼海岸五丁目水害シナリオ 1 (収録 9.29 完)

台風二十二号

台風の勢力 大型で強い台風

中心付近の気圧 九百六十ヘクトパスカル

現在の位置 日本の南海上三百キロメートル

中心付近の最大風速 秒速三十五メートル

進路予想 現在、時速二十五キロで北北西に進んでいるが、その後進路を北東に変え、九日夕方に当会から関東地方にかけて接近または上陸の恐れ。

洪水予測地区 鵜沼海岸五丁目町内会 (二〇〇四年台風二十二号で浸水被害発生)

町内会役員召集 鵜沼伏見稻荷神社 二十時〇〇分

天候 台風からの湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発になっており、雨が強く降ったり止んだり不安定な状態。台風の接近に伴い、さらに雨量は増え、大雨となる恐れが出てきた。

課題

町内会には、自主防災の組織は出来ていない中で、前回の浸水被害の経験から、何かできることないか検討。

状況設定

前回の浸水被害にあった地区の役員から、「藤沢市の洪水ハザードマップに指定されている町内として、前回と同じ進路を進んでくる台風に対して、事前に町内会として対策を講じなくて良いのか」という発案に対して、会長が緊急役員会を召集する事になった。会合場所の稻荷神社に集まってきた役員の中には、今まで被害を受けたことのない人もいて、珍案、迷案を含め色々検討されたが、とりあえず出来る事からやろうという程度で終わってしまった。

【ストーリー】
登場人物

水上

町内会長で地元の古株、洪水の被害経験はないが、町内の被害は何度も見ている。全体のまとめ役。

藤橋

副会長で世話好きな主婦。洪水の被害経験あり。(前回床上浸水)

岸川

会計係りで銀行の女子行務員。几帳面、何事も事務的に割り切っていてきはき行う。洪水の被害経験はあり。(前回車水没)

高井 監査役で不動産屋、男気はあるが、話がオーバーで一才いい加減。洪水の被害経験はない。

川端 役員で飲食店経営、心配性な男性、おとなしくてぼそぼそ話すタイプ。洪水の被害経験はあり。(前回店内浸水)

河野 役員で証券会社部長。自我の強い男性、水害対策についての提案者。洪水の被害経験はあり。(前回新築家屋の床下浸水、外車水没)

岡部 役員で民生委員。女性、町内のご意見番的存在。洪水の被害経験はなし。

白鳥 役員の父の代わりに参加した若者、災害ボランティアの経験がある。
ナレーションの声

【ナレーション】

時々強い雨が降ったりやんだりしている夕暮れ時、ここは鵜沼海岸五丁目町内会水上会長宅の居間です。会長がくつろいで見ているテレビの天気予報では「大型で強い台風二二号は、現在日本の南海上にあつて、時速二十五キロの速さで北西へ進んでいます。今後、進路を北東よりに変える見込みで、九日夕方には東海から関東にかけての沿岸部に接近または上陸する恐れが出てきました。また、台風から湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となっています。そのため、太平洋側の広い範囲で大雨となる恐れがあります。・・・」と言う放送の途中で、電話がかかってくる。

水上 はい、水上です。(聞き取りにくい) もしもし、少々お待ちください。母さん、テレビの音をちよつと小さくしてくれ。はいお待たせしました、どちら様でしょう。

河野 (電話の相手の声) 河野です、町内会役員の河野ですよ。
水上 ああ、河野さん、今日は早いですね、もうお帰りですか。

河野 いえ、まだ会社です。それより会長さん、今晚町内会の緊急役員会を招集してくださいよ。

水上 はあー? どうゆうことですか・・・。
河野 台風ですよ、台風。そつちは雨降ってないんですか?

水上 ちよつと前まで強く降ってましたけどね。今は止んでいますね。
河野 こつちは集中豪雨ですよ、電車が止まっちゃうんじゃないかってからいすごいですよ。そんな事より、今晚八時から役員会を開催するよう手配してください。

水上 手配してくれって……ちょっとまってください、何のために役員会を開くんですか。

河野 何のため……。 (ムツとして) 台風だっっていってるでしょ!

テレビのニュース見てないんですか? 同じなんですよ、五年前の台風と進路が! 規模は前より大きし、会長だつて、今年の三月に藤沢市で出した洪水ハザードマップ見てるだろ。このまま来たら引地川があふれて洪水になるんだよ! そうなる前に町内会として対策を立てなければいけないだろ!

水上 そんなこと言ったつて、河野さん……。

河野 伏見稻荷神社で今晚八時に役員会。お願いしましたよ。

河野、一方的に電話を切ってしまう。水上会長、受話器を見つめたまま独り言のように。

水上 まったく自分勝手なんだから……。

まあ、何回か浸水被害にあっているから気持ちは分るけど……。しかもかく副会長の藤橋さんに相談してみよう。(電話をかける。しばらく呼び出し音、相手が出る。) もしもし、藤橋さん、わたし、会長の水上です。

藤橋 あら、会長さん。

水上 ちよつと相談なんですがね。

藤橋 何でしょう。

水上 実は、いま少し前に、河野さんから電話がありましたね。今晚八時に、緊急に役員会を開いて欲しいっていうんですか?

藤橋 ずいぶん急ですね。で、何の話なんですか?

水上 今来ている台風が大型なんで、洪水の対策について話し合いたいんだそう。

藤橋 それはいいですね、私も考えてはいたんですよ。洪水ハザードマップも出たことだし、町内会として何らかの組織作りをしてもいいのかな

つて。私の近所は河野さんと同じで何回も浸水してますからね。そうか、あなたのところは一番水のたまるところだったっけな。

水上 今も、家の周りを見ていたところなんですよ。

藤橋 よし、急だから何人集まれるか分らないけど、役員に電話してみよう。

水上 藤橋 私は、民生委員の岡部さんに連絡します。今晚八時、場所はいつも集まる神社でいいんですか。

水上 そう、伏見稲荷に八時集合だ。少しぐらい遅れてもいいからきて欲しい。

藤橋 はい、わかりました。じゃ、のちほど。

大きな雷鳴の後、強く降る雨の音。

【ナレーション】

十月七日、午後八時、伏見稲荷神社集会場には、水上会長、藤橋副会長、川端役員の三人が集まっている。

川端 また降ってきましたね

水上 前線の影響かな、急に降ったり止んだりだ。

藤橋 今日は、何人くらい集まりそうですか？

水上 急なことだったんでいない人が多くてね、不動産屋の高井さんと銀行員の岸川さんは来るっていった。

藤橋 民生委員の岡部さんは、少し遅れるけれど出席するって言ってました。

水上 河野さんが遅いな、どうしたんだろ。

川端 横浜の方が豪雨で、電車が遅れてるって言ってましたよ。

銀行員の岸川が慌てて入ってくる。つづいて不動産屋の高井が飛び込んでくる。引き戸を開ける音。

岸川 遅れてごめんなさい。

高井 うわあ！ひでえ降りだ、びしょ濡れだよ！ 何なの、こんな日に役員会なんてさあ

水上 ご苦労さん。実はね、台風がこっちに来そうなんで、河野さんの発案で、水害対策について相談しようってことなんだ。

高井 で、河野さんは？

藤橋 まだ来てないわよ。

高井 なんだ、言いだしつpegが来てねえのかよ。

川端 (おずおずと) 横浜の方が豪雨で、電車が遅れてるって言ってましたよ。

高井 タクシーでも拾ってくりやいいんだ。

水上 民生委員の岡部さんも来る事になっているので、もう少し待ってください。

岡部 すみませんね、遅くなって。皆さんお集まりですか。

水上 ああつ、岡部さん、雨の中ご苦労様です。

集まった役員は、がやがやいいながら席に着く。そこに河野が飛び込んでくる。勢いよく引き戸を開け閉めする。

河野 いやあ！まいった、まいった。横浜のほうは、集中豪雨で電車が

止っちゃまって、やっとタクシーを拾って来たんですよ。

すいませんね、おまたせして。

川端 雨で電車が止ってしまったんでは、仕方ありませんよね。

水上 では、早速始めましょう。今日、急遽役員の方に集まっていただ

いたのは、台風が近づいているので、町内の水害対策について検

討したいという河野さんの提案ありましたので・・・。

高井 台風って、明日だか明後日だかに来るっていうやつかい？一日二

日でどんな対策が出来るっていうんだよ。

岸川 確かに、時間がないかもしれないけど、町内会として何が出来る

のか話し合うことはいいことだと思うわ。

藤橋 私の近所や、河野さんのところは毎回被害にあってるんだから。

私の店も何回か水につかって、営業できなくなりましたから。

岡部 河野さん、何か具体的に考えていらっしゃることがあるならお話

ください。

水上 そうですね、まず河野さんの意見を聞いてみましょう。

今年の三月に藤沢市から洪水ハザードマップが出たことは皆さん

知っていますよね。

藤橋 ええ、見たわよ。私の家が浸水地域の中にすっぽり入っているの

よね。

高井 引地川沿いのあの地域は昔から水の出るところなんだよ。

岸川 私のところなんて八十センチに嵩上げたの、四、五年前の台風

の時は、家は大丈夫だったけど車が水没したわ。

河野 これで見ると、平成十六年十月九日の夜、台風二十二号だよ。

へーえ！コンピュータを持ち歩いているのかい。

高井 ノートパソコンです、これがなければ、仕事になりませんからね。

このデータを見てください。問題なのは降水量なんですよ、この前

河野 は二百五十七ミリ、これで六十センチから深いところまで八十センチ

浸水したんですよ。今度来る台風をインターネットの天気予報サイ

トで見ると・・・（操作中、間）ほら、降水量は三百から四百ミリです

よ、そうなると単純に計算しても一メートル以上の浸水になる。

水上

二十二号ていえば、昭和三十三年の九月に来た狩野川台風もひどかったな。江ノ島に上陸してね、確か市内で三人死者が出たんだ。河野さんの予測も、台風がここに上陸したらっていう話でしょ。

河野

狩野川台風や前回の台風とまるつきり同じコースをたどっているんですよ。

高井

今度のも二十二号かよ！

川端

それに、日時も同じ十月九日の夜ですよ。

藤橋

勢力だけが倍近くになっている！

岸川

ひえーッ！伏見稲荷のタタリじゃない！この地域は毎年のようにやられてるのよ。もう、引越したい気分よ。でも条件が悪いからって安く買い取られちゃうんだろうな、どこかの不動産屋に。

高井

俺のところは任せてくれりゃ損はさせないよ。

岸川

（茶化すように）買うときや高い不動産、売るときや安い不動産。

高井

馬鹿言ってるんじゃないよ。

岡部

そう、お馬鹿な事いってないで話を本題に戻しましょう。

水上

今まで経験した事を踏まえて、検討課題を上げてみよう。

河野

私が書記をやりましょう。後で整理しやすいように課題をパソコンに入れてゆきます。

水上

そうしてくれると助かります。先ず町内会として取り組むとなると組織作りをどうするかだな。

高井

特に洪水のためだけの新たな班作りはいらんんじゃないか。

岸川

災害に対しては何らかの組織が必要よ。

藤橋

川の水位だとか道路に水がたまり始めたとか、情報連絡網みたいなもの。

川端

誰か役員が見に行くんですか？その情報はどこに知らせるんです

町内の若者、白鳥がやってくる。引き戸を開ける音。

白鳥

すみません、町内会の集会はここですか。

水上

そうですよ。あれ、白鳥さんとこの息子さん？

白鳥

はい、そうです。父がこれなので代わりに話を聞いてこいっていわれたもので・・・いいですか。

水上

皆さんかまわないでしょ。この際若い人の意見も聞いたほうがいいですよね。

岡部

いいですとも、願ってもない事だわ。

河野

ここは台風のたんびに洪水の被害にあっているんで、町内会としてできる対策を考えていたんだ。

白鳥

そうですか、じゃ私も参加させてください。

藤橋

今ね、情報伝達網が必要じゃないかって話してたこと。

水上

台風上陸が確実になったら、ここに自主防災本部を設置する。それで、引地川の近くで水位が家の中から見られるお宅にお願いして、状況を知らせてもらえるようにしよう。

岸川

何時も浸水する川端さんや藤橋さんちは、家の周りの状況を知らせる。セブンイレブンさんは二十四時間人がいるから異常があったら知らせてもらえるようにお願いしたらいいわ。

高井

この本部の体制はどうなんだ、情報をもらったって役員だけじゃどうにもならないぞ。

川端

水が出始めたら自分のうちのことです手一杯だよ。

白鳥

今まで浸水被害にあつてない家に協力を依頼したらどうですか。

水上

そうだね、前もって協力を頼んでおいて、いざという時には電話連絡して集まってもらう。状況に応じて浸水しそうな家へ救援に行く。

白鳥

お年寄りや寝たきりの人、それに急な対応が出来ない人も、連絡をもたえれば救助にいきます。事前に分つていればもっと早く対処できますよ。

岡部

援護者の範囲をどこまでにするのかがむづかしいわね。民生委員でも高齢者ぐらいいしか分らないもの。それだつて個人情報でうるさい事いう人がいるのよ。

岸川

最近の水害事故で、お年寄りが家の中で溺れて亡くなったつていうニュース見ましたよ。緊急時の連絡場所を知らせておくのはいいことだわ。

藤橋

それには本部が設置された事を知らせなきゃいけないでしょ、町内会の回覧板だつて二週間ぐらいかかるのよ。

水上

そのときは浸水が予測される地域だけにビラを配ればいいんじゃないか。まあ、細かい内容については置いといて、実際に困った事はないかな。

河野

車です、この間も愛車が水に浸かって買い換えたんだ。

高井

河野さんは、外車のいい車に乗っているからね。俺なら車に乗って逃げね。

岸川

自分だけ逃げ出せればそれでいいの。もっと地域で連携して助け合えないかしら。

高井

例えばどんなこと。

岸川

高井さんのところの駐車場に置かせてもらおうとか。

高井

駄目だよ、今満杯なんだ、通路に置かれたら契約者に怒られちゃうよ。

川端

家の近所のフジスパの屋上駐車場はどうだろう。

河野 水上

江ノ電バスの車庫や藤和マンションに一時避難できないかな。受け入れてくれるかどうかは交渉してみないと何ともいえないな。どの時点で車を移動していいのか問題だ。夜ならともかく昼間では他の車の出入りもあるだろうからな。

河野

明日にでも話に行ってくれませんか。車は水が入ったら駄目なんだから。

岸川

私の車は床まで浸かったのよ、マットや防音材が濡れてその後臭いがひどいの。あきらめて廃車にしたわ。

藤橋

うちは完全に水没よ、下取りはしてくれないし、保険は年式が古いからって頭金にもならなかったわよ。

川端

水の来ないところの道路に駐車してもいいか、藤沢警察に聞いてみたらどうだろう。

白鳥

早めに移動するんだったら少し離れたところのコインパーキングや立体駐車場はどうです、最大千八百円とかで停められますよね。

水上

それも選択肢の一つだね。まあ車の件については相談に行ってみますよ。でも相手の都合もあることだからすぐに結論は出ないかもしれないよ。そのほかに出来そうなことはないかな。

高井

ともかく排水が悪いんだよな、側溝やマンホールから水が吹き上げてる。ごみの詰まりをチェックして、掃除してもらうんだ。

藤橋

どうやってチェックするの。

高井

今日みたいな雨の日に町内を一回りすればいいのさ。詰まっている側溝や集水マスからは水が吹き出ているから一目瞭然だ。

川端

掃除するっていつでも、マンホールは開けられないし、県道の側溝マスの蓋はボルトで止めてありますよ。

高井

詰まっている場所を市役所に言ってもやってもらうんだよ。蓋をあげることはわりでも、自分たちで落ち葉やごみを取り除くこと

川端

ぐらいは出来ますよ。

岡部

あふれている所に、土嚢を積むっていうのはどう？

河野

膝までの深さになったら土嚢は役に立たない、それに誰が用意してどこにおいておくんだ。

岡部

鵜沼歯科医院では用意してあったわ。個人の家で置き場があるのなら用意できるけど、土嚢ってかさばるんだ。

藤橋

市民センターにあるんじゃない。

岸川

誰が運ぶの、トラックでなければ無理よ。土嚢は個人で用意してもらおう。町内会としては防災倉庫の点検かな。

白鳥 対策本部に集まった人たちの役割分担を、きちんと決めておかないと動けなくなりそうですよ。僕は、ボランティアでいろんな被災地に行きましたが防災組織やマニュアルがあってもなかなかスムーズに行かなくて混乱するんです。

水上 この町内会には、現在そんな組織だったものはないよ。

白鳥 話を聞いていて分りました、でも事後処理も大事なんです。ごみ処理とか消毒など行政と連携して行う、それと被害状況を写真で記録しておく。被災者の方は、後始末に追われて申請に必要な資料がなかったり、手続きが煩雑であきらめたりする人が多いんです。ボランティアについては、僕たちの仲間がいますから相談してみます。

水上 経験者がいてくれて心強いね。大体意見が出尽くしたようだから河野さんにまとめて頂いて、後日役員会で検討することにしませう。

河野 待つてくださいよ！台風が来ているんですよ、すぐにでも準備をしなけりや間に合いませんよ。

高井 今話したことをすぐやるなんて無理だよ。

岸川 河野さんの言うとおりのよ。今までの話し、記録してあるんでしょ打ち出してみてもよ。

河野 プリンターがないから紙には打ち出せないけど、要点だけまとめることはできる。

藤橋 できる事があるかもしれないから、読み上げてみて。

高井 今日これなかった役員の意見も聞かなくっちゃいけないだろ、それに台風だつて上陸するかどうか分からないし。

川端 できるだけ準備しておいて、来なけりやそれに越したことはないですよ。

岡部 私も賛成ですね。河野さんにまとめてもらって、明日にでもコピーを役員さんに回しましょう。

白鳥 僕も賛成です。こういう取り組みは早いほうがいいと思います。

水上 わかりました。一つでも二つでもやれることから手をつけていきましよう。

高井 もし来るとしたつて、一日半しかないんだぜ、役所だつて動いちゃくれないよ。

岸川 もう、高井さんとは被害にあったことがないからわかんないのよ。
河野 よし、できたから読み上げますよ。まず、自主防災本部の設置について。

水上 台風が上陸する日の早い時間、会長の私が判断して役員に知らせます。どうですか。

一同 (「異議なし」とか「賛成」「いいですよ」などの声上がる)

河野 引地川の水位や家の周りの浸水状況を本部に報告する件。

高井 これは当日だな。

岸川 川の水位が見えるお宅とか浸水地区のお宅には明日にでも話しに行かないとだめよ、それとセブンイレブンにはいつも利用する私がお願いしに行きます。

藤橋 私も明日、引地川のそばの貝塚さんや魚津さんに頼みにいきます。

川端 浸水地区の情報は、私たちで出来ますよね。

水上 当面はそれでいいけど、もう少し情報提供者が多いといいな。

河野 明日頼みに行くと言う事ですね。次に、本部の体制、役員以外の協力をどうするか。

白鳥 これも明日中にできるだけ近所に協力をお願いしてきます。

河野 次は、要援護者の問題。

岡部 どの程度事前に情報公開できるものか、民生委員の立場で役所に連絡して見ます。回答がすぐ出るか分かりませんよ。

河野 自主防災本部の設置を知らせる方法について。

水上 ビラの文面を考えて本部が設置されたら浸水地区にポストイン出来るようコピーしておくよ。明日の状況しだいだね。

川端 会長さんにお任せします。

河野 自動車の移動の問題は。

水上 明日にでもいつて来るけど、相手が会社だからね、時間がかかると思うよ。

川端 路上駐車の際は・・・。

水上 警察も、水が始めてからなら大目に見てくれるかもしれないけど、駐車違反になっちまうだろう。緊急車両の邪魔にもなるし。白鳥君の言ってた、コインパーキングなんかで自己防衛してもらうんだな。集水マスや側溝のごみ詰まりチェックについて。

高井 俺が言い出したんだから、帰りがけに見て回ってくるよ。掃除のことは明日役所に連絡して聞いてみる。

白鳥 僕も見回ります。手分けしてやりましょう。

藤橋 みんなで帰りがけに家の近所を見てみましょうよ、詰まってるところがあつたら、明日高井さんに電話するわ。

高井 会社に五丁目の住宅地図があるからそれに印をつけとくよ。

河野 それから、土嚢の件。

水上 これは・・・。町内会としてはすぐには出来ないな。

河野 明日中には出来ないということですか。

水上 そうだね、無理だね。防災倉庫の点検を試みるよ、土嚢袋はあるだろうけど砂がないからな。

河野 ええと、次は本部に集まった人の役割分担について。
水上 どのくらい人が集まるか予測がつかないから、その場で割り振るし
かないな。

岡部 そうですね、どのくらい救援の依頼が来るかですよ。手助けして
もらえるとなったらどんな要望が来るか分かりませんよ。
高井 難問題、珍問題が続出したりしてな。

河野 じゃ、これは出たとこ勝負ですか。あとは事後処理の問題です。
岸川 項目がいっぱいあったわね。ごみ処理でしょ。消毒、弱者の緊急避
難施設の確保。みんな行政がらみで、地域がかかわれることって少
ないんじゃないの。

白鳥 水に浸かった大型ごみは家の前に出しておいて、そのほかのごみはビ
ニール袋に入れて決められた集積所を持ってゆく。介護者などは病院
や公共施設に一時入所するしかないでしょうね、これには行政との連
携は欠かせません。

水上 これについては、市役所の災害対策課と事前に相談することは出来
ると思う。

岡部 要介護者や弱者の救援は保健福祉部だったと思う。それと、災害見
舞金に弔慰金。でも窓口が多くて複雑なのよね。

河野 保険会社とも交渉しなけりやならないしな。

川端 これはぜひ身近なところでの相談窓口がほしいですね。

藤橋 いちいち役所や消防署に行くのは大変なのよね。

川岸 申請書の書き方や添付書類が面倒で、結局あきらめちゃったわ。

水上 地域での相談窓口はぜひとも開設したいね。それと記録をとっておく
ことは、被災者だけではなく、地域として総合的に今後の対策に生か
せるからね。

河野 これで、これからやることは確認できましたね。インターネットで
メールやってる人います。まとめた記録送りますよ。さて、台風は
どんな状況かな、ちよつと見てみますかね。(間) あららッ、これは
最悪のコースを取っている！間違いない直撃ですよ！

藤橋 ほんとだ！

川端 運べるものは早めに二階へ運んでおこう。

高井 警報は出てないんだろ。

河野 何言ってるんですか、とっくに出ていますよ、行政のホームページで
警報が発令されていますよ

水上 皆さん、今から出来るだけのことをやりましょう。

高井 よし、白鳥君一回りしてこようか。

白鳥 はい、ぼくはバイクで回ります。

岡部 私たちも周りを確認しながら帰りましょう。
川岸 そうですね、これからコンビニによって話してきます。お先に失礼
します。

藤橋 岸川さん、よろしくお願いしますね。会長さん私もこれで失礼します。
水上 どうもご苦勞様。明日ご足勞ですが近所周りお願いしますね。
藤橋 はい分かりました、河野さん、お疲れ様でした。

引き戸を開け閉めする音。 短い間。

水上 河野さん、今日は本当に助かりました。準備不足ですが、やろうとす
ることの方向だけは分かっただけです。

河野 私こそ無理を言いました。個人で出来ることには限界がありますし、
どうにかして地域で対策が出来ないものかと思っていたものですから、
電話では失礼しました。

水上 いやとんでもない、ぶっつけ本番だから、今日、検討した内のどれだ
け実現できるのか、心もとない限りですよ。

河野 今までも何も準備してないとこからやるんですからね。
水上 これが地域の取り組みの始まりですね、一つでも二つでも、やれるだ
け頑張りましょう。

激しい雷雨、風も強まってくる。

ストーリー1終わり

地域発防災ラジオドラマ
現状とドラマ（フィクション）との相違点

● このドラマの舞台となった鵜沼海岸5丁目は藤沢市の西縁を流れる引地川（ひ
きぢがわ）の流域になります。町内会は二〇〇〇人弱、七〇〇世帯ほどですが、
まだ自主防災組織が十分に組織化されていません。このドラマでは町内会の役
員が自分たちで判断して自主防災本部を鵜沼伏見稲荷神社の集会所に立ち上

● げるといふ仮の想定で話が展開していきます。

ドラマでは町内の浸水が懸念される地区に居住しているある高齢者が、住民の自主避難の説得に応じないシーンが描かれます。水害の場合、浸水がひどくなる前に（できれば浸水の事態が発生する前に）安全なところに身を寄せることが被害を防ぐ上で大きな意味を持つと思われます。この判断を適切に行うことは非常に難しく、二〇〇九年には兵庫県で自主避難中に流されて大勢の方が亡くなるという痛ましい事故が起きました。ドラマでは避難のタイミングまでは議論されませんが、このドラマをきっかけにして、地域ごとにどうすれば安全な自主避難が出来るか議論していただくことが大切だと考えています。